

2024年10月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年9月13日

上場会社名 アートグリーン株式会社 上場取引所 名
コード番号 3419 URL <http://www.artgreen.co.jp/>
代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 豊
問合せ先責任者(役職名) 常務取締役 (氏名) 芝田 新一郎 (TEL) 03-6823-5926
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年10月期第3四半期の連結業績(2023年11月1日~2024年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年10月期第3四半期	1,931	2.4	56	39.1	54	44.6	30	52.2
2023年10月期第3四半期	1,886	8.2	40	△33.6	37	△42.7	19	△49.1

(注) 包括利益 2024年10月期 第3四半期 30百万円(52.0%) 2023年10月期 第3四半期 20百万円(△47.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年10月期第3四半期	25.88	—
2023年10月期第3四半期	17.23	16.91

(注) 2024年10月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、潜在株式が存在しないため記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年10月期第3四半期	1,363	538	39.5
2023年10月期	1,250	507	40.6

(参考) 自己資本 2024年10月期第3四半期 538百万円 2023年10月期 507百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年10月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年10月期	—	0.00	—	—	—
2024年10月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年10月期の連結業績予想(2023年11月1日~2024年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,605	4.9	68	326.2	66	401.3	34	—	29.70

(注)1 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注)2 親会社株主に帰属する当期純利益の対前期増減率は1,000%を超えるため、「—」と記載しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年10月期3Q	1,171,600株	2023年10月期	1,171,600株
② 期末自己株式数	2024年10月期3Q	242株	2023年10月期	242株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年10月期3Q	1,171,358株	2023年10月期3Q	1,156,159株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があり、将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。なお、業績予想に関する事項は、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(重要な後発事象)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、円安を背景としたインバウンド需要の拡大による観光需要の増加や、経済活動の正常化にともない、企業収益の改善による環境対応や設備投資も増加していることから、景気は緩やかな回復基調となりました。一方で世界的なインフレ抑制を目的とした金融引き締めや、長期化するロシア・ウクライナ情勢、さらには中東情勢をめぐる地政学リスクの高まりによるエネルギー価格や原材料価格の高騰等、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。

花き業界においては、東京都中央卸売市場の市場統計情報によると、2024年5月から7月までの、らん鉢取扱金額は938百万円、その内ファレノプシス類（胡蝶蘭鉢）の取扱金額は894百万円と、いずれも前年同期比5.0%減という傾向で推移しております。

このような事業環境の中、フラワービジネス支援事業は、主力である法人贈答用胡蝶蘭の新規顧客開拓及び既存顧客に対する訪問営業活動等、販売促進に注力いたしました。また、業務効率化を図るため、パンチアウト連携のシステム開発を依頼し、お取引先様の購買管理システムと自社ウェブカタログサイトの間において、受発注業務のシステム連携を目指して構築を開始いたしました。

ナーセリー支援事業は、引き続き新規顧客開拓と当社オリジナル園芸資材の販売促進に注力し、フューネラル事業につきましても、新規顧客開拓と既存顧客のニーズに合わせた商品及びサービス展開に注力いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は1,931,990千円（前年同期比2.4%増）、営業利益56,195千円（前年同期比39.1%増）、経常利益54,961千円（前年同期比44.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益30,316千円（前年同期比52.2%増）となりました。

なお、当社グループの事業セグメントは単一セグメントであるため、セグメント情報は記載せず、主要な事業について記載しております。

(フラワービジネス支援事業)

フラワービジネス支援事業につきましては、主力である法人贈答用胡蝶蘭の新規顧客開拓及び既存顧客への販売促進に注力いたしました。また、各企業ESGやSDGsの観点からもオフィス環境の改善及び快適化に向けた取り組みへの意識が高まってきていることから、観葉植物やフェイクグリーン等のオフィス緑化についてお問い合わせ、ご注文が増加いたしました。

以上の結果、フラワービジネス支援事業の売上高は1,304,668千円（前年同期比0.5%増）となりました。

(ナーセリー支援事業)

ナーセリー支援事業につきましては、新規顧客開拓とオリジナル園芸資材の販売強化に注力しました。エネルギーや原材料価格の高騰による生産コストの上昇が続くことから、種苗をはじめ各種園芸資材の販売単価の値上げ等についても引き続き慎重に進めました。

製販一体による栽培、流通、販売の最適化を進めたことにより、提携農園で栽培された胡蝶蘭を自社製品として内部利用する利用率を高めたこともあり、売上高は前年同期微減で推移いたしました。

以上の結果、ナーセリー支援事業の売上高は424,901千円（前年同期比4.5%減）となりました。

(フューネラル事業)

フューネラル事業につきましては、引き続き新規顧客開拓及び既存顧客への販売促進に注力し、順調に進めることが出来ました。

葬儀業界全体の環境としましては、大都市圏を中心に葬儀単価の減少傾向が続く中、高齢化社会を背景に今後も葬儀件数は増加傾向にあります。全国的に家族葬や密葬、葬儀の小型化による葬祭規模の縮小化が増加しており、今後も葬儀規模は縮小傾向で進んでいくと考えられます。引き続き既存取引先や葬儀業界関係各社との情報交換を積極的に行いながら、柔軟な対応と新たなサービス展開に取り組んでおります。

以上の結果、フューネラル事業の売上高は202,420千円（前年同期比40.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は1,363,816千円となり、前連結会計年度末と比べ113,592千円増加しました。

流動資産は1,176,202千円となり、前連結会計年度末と比べ95,123千円増加しました。その主な要因は、受取手形及び売掛金が28,782千円減少したものの、現金及び預金が112,959千円増加し、貸倒引当金が17,939千円減少したことによるものであります。

固定資産は187,613千円となり、前連結会計年度末と比べ18,468千円増加しました。その主な要因は、投資その他の資産のその他に含まれております敷金及び保証金が18,772千円増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は825,786千円となり、前連結会計年度末と比べ82,842千円増加しました。

流動負債は453,906千円となり、前連結会計年度末と比べ24,808千円増加しました。その主な要因は、買掛金が8,833千円、賞与引当金が10,898千円それぞれ減少した一方で、1年内返済予定の長期借入金が41,691千円、未払法人税等が11,706千円それぞれ増加したことによるものであります。

固定負債は371,880千円となり、前連結会計年度末に比べ58,034千円増加しました。その主な要因は、長期借入金が56,057千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は538,029千円となり、前連結会計年度末と比べ30,749千円増加しました。その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益30,316千円を計上したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年10月期の業績予想につきましては、2024年6月12日に公表いたしました通期の連結業績予想から、修正は行っておりません。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予測数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	610,305	723,264
受取手形及び売掛金	317,413	288,630
商品及び製品	38,542	33,075
仕掛品	111,285	107,245
原材料及び貯蔵品	321	321
その他	28,563	31,077
貸倒引当金	△25,352	△7,413
流動資産合計	1,081,078	1,176,202
固定資産		
有形固定資産	13,025	12,569
無形固定資産		
のれん	16,177	13,866
その他	37,394	36,926
無形固定資産合計	53,572	50,793
投資その他の資産		
その他	106,194	149,062
貸倒引当金	△3,647	△24,811
投資その他の資産合計	102,547	124,250
固定資産合計	169,145	187,613
資産合計	1,250,223	1,363,816
負債の部		
流動負債		
買掛金	106,343	97,510
1年内返済予定の長期借入金	189,332	231,023
未払法人税等	5,123	16,829
賞与引当金	21,483	10,584
株主優待引当金	3,678	—
その他	103,136	97,959
流動負債合計	429,097	453,906
固定負債		
長期借入金	312,992	369,049
その他	854	2,831
固定負債合計	313,846	371,880
負債合計	742,944	825,786

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年7月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	143,012	143,012
資本剰余金	94,997	94,997
利益剰余金	268,338	298,655
自己株式	△465	△465
株主資本合計	505,883	536,199
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,396	1,829
その他の包括利益累計額合計	1,396	1,829
純資産合計	507,279	538,029
負債純資産合計	1,250,223	1,363,816

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年7月31日)
売上高	1,886,929	1,931,990
売上原価	1,075,212	1,102,244
売上総利益	811,716	829,745
販売費及び一般管理費	771,317	773,549
営業利益	40,399	56,195
営業外収益		
受取利息	169	169
受取配当金	28	58
受取助成金	711	—
為替差益	—	822
その他	517	1,175
営業外収益合計	1,426	2,227
営業外費用		
支払利息	3,028	3,460
為替差損	774	—
その他	26	0
営業外費用合計	3,829	3,461
経常利益	37,996	54,961
特別損失		
固定資産除却損	1,956	491
固定資産売却損	—	423
特別損失合計	1,956	915
税金等調整前四半期純利益	36,040	54,046
法人税、住民税及び事業税	9,394	19,740
法人税等調整額	6,727	3,988
法人税等合計	16,122	23,729
四半期純利益	19,918	30,316
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	19,918	30,316

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年7月31日)
四半期純利益	19,918	30,316
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	314	433
その他の包括利益合計	314	433
四半期包括利益	20,232	30,749
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	20,232	30,749
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

連結子会社の税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

「電子記録移転有価証券表示権利等の発行及び保有の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第43号2022年8月26日 企業会計基準委員会)を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社の事業セグメントは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年7月31日)
減価償却費	10,852千円	11,495千円
のれんの償却額	3,069千円	2,311千円